

こうふグリーンラボについて

こうふグリーンラボの機能

普及啓発

再エネや水素等に関する各種セミナー等を実施し、市民への環境意識の醸成や水素リテラシーの向上を図る。

実証実験

日本一の日照時間等、本市のポテンシャルを最大限に活かした再エネや水素等、持続可能なエネルギーの利活用に向けた調査・研究を行う。



ACTION 4



水素自転車

START!

FC-Bicycle

実証実験



甲府市とABILITY株式会社による

常圧水素カートリッジを用いたデバイスの社会実装に向けた事業連携協定 締結！



協定の目的

ゼロカーボンシティを目指す水素社会の実現に向けたこうふグリーンラボの新たな実証事業として、民間事業者との連携により、常圧水素カートリッジ（水素吸蔵合金）を用い、市民に身近なデバイスへの水素の社会実装を進め、地域社会に水素エネルギーを浸透させる

協定イメージ



いつでも、誰でも、どこでも
水素がつかえるのよ♡

水素の貯蔵・供給方法

水素の貯蔵・供給については、高压ガスボンベによるものと水素吸蔵合金によるものが存在するため、活用の場に応じてそれぞれの長所を活かした役割分担の中で、貯蔵・供給方法を選択する

高压ボンベ

役割分担

水素吸蔵合金

いつでも、誰でも、どこでも

本協定に基づく事業では、市民の日常生活をはじめとした地域への水素の小口利用の普及を図るため、法規制等のない常圧水素カートリッジ（水素吸蔵合金）を用いた実証を行う



日常生活

モビリティ

令和6年度事業



FC-Bicycle

「水素・燃料電池アシスト自転車の開発事業」

令和6年度は市民に身近なデバイスとしてモビリティに焦点を当て、水素・燃料電池アシスト自転車（以下、水素自転車）の開発を実施します。この際、世代を問わず幅広い方々が乗車できるよう、タイプの異なる形状の水素自転車を開発してまいります。

なお、開発は令和6年度で完了し、来年度以降は、開発した自転車の走行面、運用面の実証並びに分析を行っていく予定です。

詳しくは、別途ホームページで紹介しています！



事業イメージ

連携による共同開発・共同実証



開発



実証



分析

令和6年度

令和7年度